

労働法大改悪阻止 闘争本部ニュース No. 9 1

■日本労働弁護団は闘う！！

ここ数日、国会に提出され継続審議になっている労働基準法改正案(残業代ゼロ法案=定額働かせ放題法案)について、連合が政府に修正を申し入れることが大きく報じられています。

連合がどのような方針をとるのかについては、明確な情報はありませんが、**日本労働弁護団として、労働時間法制の根幹を脅かす労働基準法改正案の廃案を求めていく方針に、何ら迷いはありません。**

労働基準法改正案に盛り込まれている「企画業務型裁量労働制」と「高度プロフェッショナル制度」は、長時間労働を加速させるものです。長時間労働是正に向けた取組が求められる中、真っ向から矛盾するこのような法案を成立させるなど絶対にあってはならないことです。

仮に一定の修正が盛り込まれたとしても、未だに何ら国会審議すらなされていない現状において、当弁護団として一定の修正を前提に法案を容認する取組をすることはあり得ません。

今後も、日本労働弁護団は、全ての労働者・労働組合の皆さん、さらには共謀罪反対の取組などの経験を踏まえて市民運動とも連携を深めて、断固として廃案を求めていきます。

■忘れてはならない裁量労働の危険性

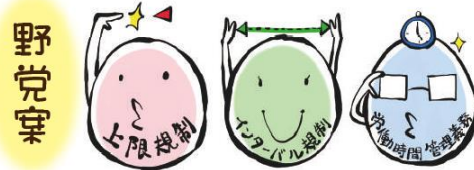
多くの方が高度プロ制度に目を奪われていますが、最も現実の危険性が高いのは裁量労働制度の対象範囲の拡大です。

みなし時間労働のもとで長時間労働に対する抑止力が全くないのが裁量労働制の根本的な問題ですが、それを法人相手の営業職にまで拡大しようとしているのが、今回の労基法改正案です。電通の社員の業務が当てはまるものであって、電通過労自死事件の悲劇が起きる危険もあります。

■日本労働弁護団では、政府の労基法改正案の危険性を知らせるリーフレットを作成しました！



定額働かせ放題(高プロの創設、裁量労働制の拡大)の政府案の危険性を野党案と比較して分かりやすく伝えています。



日本労働弁護団のホームページで**無料**ダウンロードできます(注文も受け付けています)！街頭宣伝、学習会などで是非ご活用ください！！